

旧(平成30年3月策定)

(7) 保健・福祉施設/a. 高齢者福祉施設

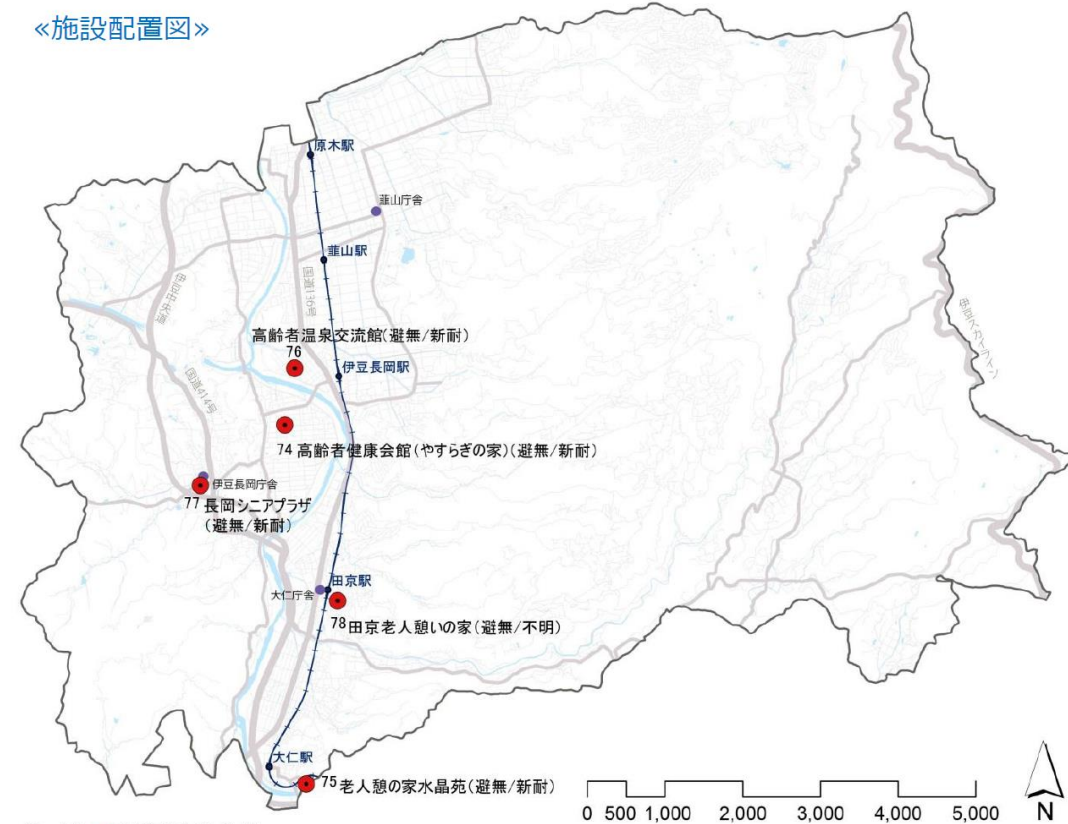
(7) 保健・福祉施設

a. 高齢者福祉施設

《施設一覧》

施設番号	施設名	施設規模		安全性		利用・運営状況				
		敷地面積(m ²)	延床面積(m ²)	災害危険区域の状況	経過年数(年)	借地の状況	運営形態	利用者数(入館者数)2013~2015年度の平均(人)	歳出(円)2013~2015年度の平均	歳入(円)2013~2015年度の平均
74	高齢者健康会館(やすらぎの家)	971.29	976.14	—	21	全所有	直営	36,814	12,299,333	388,333
75	老人憩の家水晶苑	992.69	624.20	—	12	全所有	直営	46,548	8,098,333	34,000
76	高齢者温泉交流館	1,284.58	777.02	家屋倒壊等氾濫想定区域・氾濫流	24	全借地	直営	72,292	27,779,667	5,853,000
77	長岡シニアプラザ	499.00	226.28	—	17	全借地	直営	236	1,432,667	235,000
78	田京老人憩いの家	1,637.00	237.00	—	40	全所有	民営(貸付)	不明	0	0
延べ床面積合計		2,840.64	2,840.64	公共施設全体に占める割合	1.65%					

《施設配置図》



凡例 ● 高齢者福祉施設
 +--+ 鉄道 ● 駅名 — 自動車専用道路 — 国道 — 県道等
 1~139 施設番号 各施設名(①/②) ①防災拠点指定等の状況 ②耐震基準及び耐震補強の有無
 避指: 避難所・避難地指定あり 新耐: 新耐震
 避無: 避難所指定なし 旧耐済: 旧耐震・耐震補強有
 — : その他(※) 旧耐一: 旧耐震・耐震補強無

※その他: 緊急物資集積場所、救護所、自衛隊・警察・消防の救助活動拠点地、災害対策本部
 なお、指定のない施設においても、災害の状況によっては災害対応のため使用することがある

新(改定案)

(7) 保健・福祉施設/a. 高齢者福祉施設

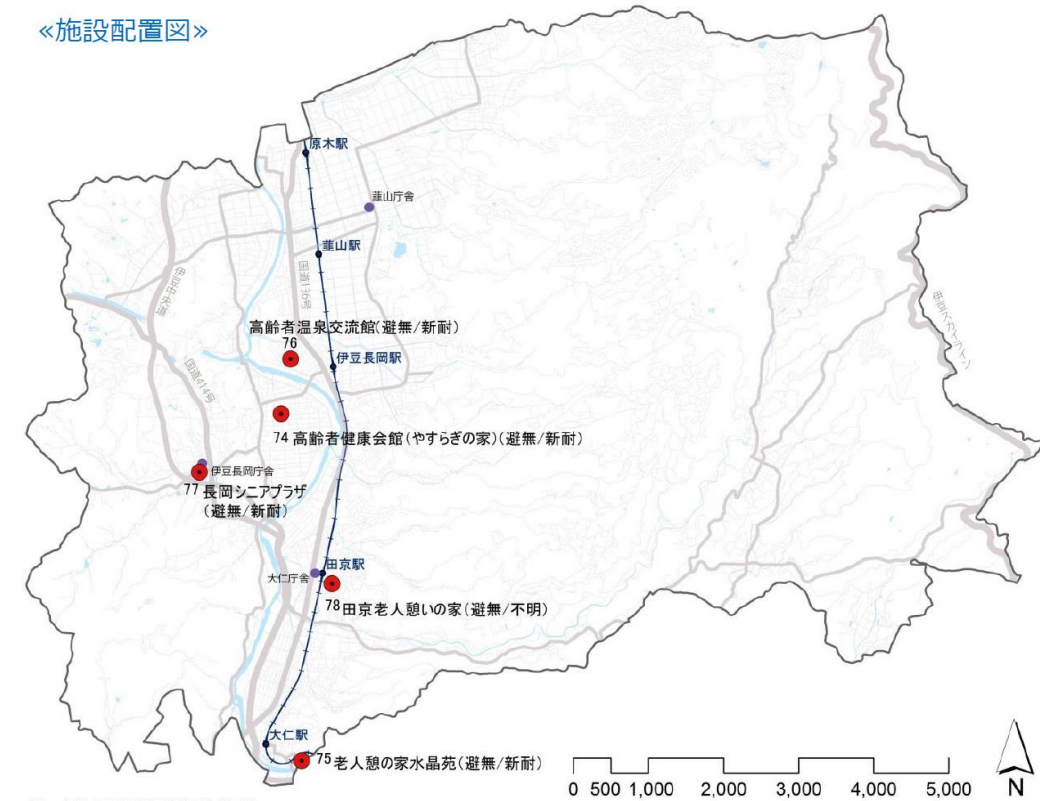
(7) 保健・福祉施設

a. 高齢者福祉施設

《施設一覧》

施設番号	施設名	施設規模		安全性		利用・運営状況				
		敷地面積(m ²)	延床面積(m ²)	災害危険区域の状況	経過年数(年)	借地の状況	運営形態	利用者数(入館者数)2013~2015年度の平均(人)	歳出(円)2013~2015年度の平均	歳入(円)2013~2015年度の平均
74	高齢者健康会館(やすらぎの家)	971.29	976.14	—	21	全所有	直営	36,814	12,299,333	388,333
75	老人憩の家水晶苑	992.69	624.20	—	12	全所有	直営	46,548	8,098,333	34,000
76	高齢者温泉交流館	1,284.58	777.02	家屋倒壊等氾濫想定区域・氾濫流	24	全借地	直営	72,292	27,779,667	5,853,000
77	長岡シニアプラザ	499.00	226.28	—	17	全借地	直営	236	1,432,667	235,000
78	田京老人憩いの家	1,637.00	237.00	—	40	全所有	民営(貸付)	不明	0	0
延べ床面積合計		2,840.64	2,840.64	公共施設全体に占める割合	1.65%					

《施設配置図》



凡例 ● 高齢者福祉施設
 +--+ 鉄道 ● 駅名 — 自動車専用道路 — 国道 — 県道等
 1~139 施設番号 各施設名(①/②) ①防災拠点指定等の状況 ②耐震基準及び耐震補強の有無
 避指: 避難所・避難地指定あり 新耐: 新耐震
 避無: 避難所指定なし 旧耐済: 旧耐震・耐震補強有
 — : その他(※) 旧耐一: 旧耐震・耐震補強無

※その他: 緊急物資集積場所、救護所、自衛隊・警察・消防の救助活動拠点地、災害対策本部
 なお、指定のない施設においても、災害の状況によっては災害対応のため使用することがある

旧(平成 30 年 3 月策定)			新(改定案)																																
(7) 保健・福祉施設/a. 高齢者福祉施設			(7) 保健・福祉施設/a. 高齢者福祉施設																																
<p>ア 施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉施設は、高齢者の健全な憩いの場を確保するとともに、高齢者の健康の増進及び介護予防を図ることなどを目的として、5 施設を設置しています。 ・事務室、交流室、浴室、談話室、軽運動室、トイレなどで構成され、市内高齢者を中心として利用されています。 ・複数設置している温泉施設については、一部借地の施設もあり、観光の温泉施設とも一部機能が重複しています。 			<p>ア 施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉施設は、高齢者の健全な憩いの場を確保するとともに、高齢者の健康の増進及び介護予防を図ることなどを目的として、5 施設を設置しています。 ・事務室、交流室、浴室、談話室、軽運動室、トイレなどで構成され、市内高齢者を中心として利用されています。 ・複数設置している温泉施設については、一部借地の施設もあり、観光の温泉施設とも一部機能が重複しています。 																																
<p>イ 施設の現状・課題を踏まえた評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価の視点</th> <th>現状と課題</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提供主体</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者温泉交流館」と「高齢者健康会館(やすらぎの家)」、「老人憩の家水晶苑」は市の直営、「長岡シニアプラザ」はシルバー人材センターに貸付、「田京老人憩いの家」は、市有の未利用建物を田京老人クラブに貸与しています。 ・今後の高齢化の進行に対応し、ニーズに対応した継続的なサービスを提供するため、民間移管や地域移譲などを検討していくことが望ましいです。 </td> <td>民間主体 (一部行政)</td> </tr> <tr> <td>提供圏域</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・全市的な施設で提供圏域はやや広域的ですが、実際の利用者は施設が所在する地域の高齢者が多くなっています。 </td> <td>やや広域的</td> </tr> <tr> <td>供給量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設ともに多くの利用があり、類似自治体の高齢者福祉施設と比較して、人口当たりの延べ床面積は平均と同程度で、1 施設当たりの規模も平均と同程度となっています(※類似自治体の公共施設等白書、公共施設等総合管理計画より)。 ・今後の高齢化の進行などを考慮すると、関連する施設との連携及び一体化など、施設の集約や合理化などを図りつつ、適正な施設規模と配置を検討する必要があります。 </td> <td>やや少ない</td> </tr> <tr> <td>機能・汎用性</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・主には和室、広間、会議室などで構成され、機能・汎用性は高いです。 </td> <td>高い</td> </tr> </tbody> </table>			評価の視点	現状と課題	評価	提供主体	<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者温泉交流館」と「高齢者健康会館(やすらぎの家)」、「老人憩の家水晶苑」は市の直営、「長岡シニアプラザ」はシルバー人材センターに貸付、「田京老人憩いの家」は、市有の未利用建物を田京老人クラブに貸与しています。 ・今後の高齢化の進行に対応し、ニーズに対応した継続的なサービスを提供するため、民間移管や地域移譲などを検討していくことが望ましいです。 	民間主体 (一部行政)	提供圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・全市的な施設で提供圏域はやや広域的ですが、実際の利用者は施設が所在する地域の高齢者が多くなっています。 	やや広域的	供給量	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設ともに多くの利用があり、類似自治体の高齢者福祉施設と比較して、人口当たりの延べ床面積は平均と同程度で、1 施設当たりの規模も平均と同程度となっています(※類似自治体の公共施設等白書、公共施設等総合管理計画より)。 ・今後の高齢化の進行などを考慮すると、関連する施設との連携及び一体化など、施設の集約や合理化などを図りつつ、適正な施設規模と配置を検討する必要があります。 	やや少ない	機能・汎用性	<ul style="list-style-type: none"> ・主には和室、広間、会議室などで構成され、機能・汎用性は高いです。 	高い	<p>イ 施設の現状・課題を踏まえた評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価の視点</th> <th>現状と課題</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提供主体</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者温泉交流館」と「高齢者健康会館(やすらぎの家)」、「老人憩の家水晶苑」は市の直営、「長岡シニアプラザ」はシルバー人材センターに貸付、「田京老人憩いの家」は、市有の未利用建物を田京老人クラブに貸与しています。 ・今後の高齢化の進行に対応し、ニーズに対応した継続的なサービスを提供するため、民間移管や地域移譲などを検討していくことが望ましいです。 </td> <td>民間主体 (一部行政)</td> </tr> <tr> <td>提供圏域</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・全市的な施設で提供圏域はやや広域的ですが、実際の利用者は施設が所在する地域の高齢者が多くなっています。 </td> <td>やや広域的</td> </tr> <tr> <td>供給量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設ともに多くの利用があり、類似自治体の高齢者福祉施設と比較して、人口当たりの延べ床面積は平均と同程度で、1 施設当たりの規模も平均と同程度となっています(※類似自治体の公共施設等白書、公共施設等総合管理計画より)。 ・今後の高齢化の進行などを考慮すると、関連する施設との連携及び一体化など、施設の集約や合理化などを図りつつ、適正な施設規模と配置を検討する必要があります。 </td> <td>やや少ない</td> </tr> <tr> <td>機能・汎用性</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・主には和室、広間、会議室などで構成され、機能・汎用性は高いです。 </td> <td>高い</td> </tr> </tbody> </table>			評価の視点	現状と課題	評価	提供主体	<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者温泉交流館」と「高齢者健康会館(やすらぎの家)」、「老人憩の家水晶苑」は市の直営、「長岡シニアプラザ」はシルバー人材センターに貸付、「田京老人憩いの家」は、市有の未利用建物を田京老人クラブに貸与しています。 ・今後の高齢化の進行に対応し、ニーズに対応した継続的なサービスを提供するため、民間移管や地域移譲などを検討していくことが望ましいです。 	民間主体 (一部行政)	提供圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・全市的な施設で提供圏域はやや広域的ですが、実際の利用者は施設が所在する地域の高齢者が多くなっています。 	やや広域的	供給量	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設ともに多くの利用があり、類似自治体の高齢者福祉施設と比較して、人口当たりの延べ床面積は平均と同程度で、1 施設当たりの規模も平均と同程度となっています(※類似自治体の公共施設等白書、公共施設等総合管理計画より)。 ・今後の高齢化の進行などを考慮すると、関連する施設との連携及び一体化など、施設の集約や合理化などを図りつつ、適正な施設規模と配置を検討する必要があります。 	やや少ない	機能・汎用性	<ul style="list-style-type: none"> ・主には和室、広間、会議室などで構成され、機能・汎用性は高いです。 	高い
評価の視点	現状と課題	評価																																	
提供主体	<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者温泉交流館」と「高齢者健康会館(やすらぎの家)」、「老人憩の家水晶苑」は市の直営、「長岡シニアプラザ」はシルバー人材センターに貸付、「田京老人憩いの家」は、市有の未利用建物を田京老人クラブに貸与しています。 ・今後の高齢化の進行に対応し、ニーズに対応した継続的なサービスを提供するため、民間移管や地域移譲などを検討していくことが望ましいです。 	民間主体 (一部行政)																																	
提供圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・全市的な施設で提供圏域はやや広域的ですが、実際の利用者は施設が所在する地域の高齢者が多くなっています。 	やや広域的																																	
供給量	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設ともに多くの利用があり、類似自治体の高齢者福祉施設と比較して、人口当たりの延べ床面積は平均と同程度で、1 施設当たりの規模も平均と同程度となっています(※類似自治体の公共施設等白書、公共施設等総合管理計画より)。 ・今後の高齢化の進行などを考慮すると、関連する施設との連携及び一体化など、施設の集約や合理化などを図りつつ、適正な施設規模と配置を検討する必要があります。 	やや少ない																																	
機能・汎用性	<ul style="list-style-type: none"> ・主には和室、広間、会議室などで構成され、機能・汎用性は高いです。 	高い																																	
評価の視点	現状と課題	評価																																	
提供主体	<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者温泉交流館」と「高齢者健康会館(やすらぎの家)」、「老人憩の家水晶苑」は市の直営、「長岡シニアプラザ」はシルバー人材センターに貸付、「田京老人憩いの家」は、市有の未利用建物を田京老人クラブに貸与しています。 ・今後の高齢化の進行に対応し、ニーズに対応した継続的なサービスを提供するため、民間移管や地域移譲などを検討していくことが望ましいです。 	民間主体 (一部行政)																																	
提供圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・全市的な施設で提供圏域はやや広域的ですが、実際の利用者は施設が所在する地域の高齢者が多くなっています。 	やや広域的																																	
供給量	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設ともに多くの利用があり、類似自治体の高齢者福祉施設と比較して、人口当たりの延べ床面積は平均と同程度で、1 施設当たりの規模も平均と同程度となっています(※類似自治体の公共施設等白書、公共施設等総合管理計画より)。 ・今後の高齢化の進行などを考慮すると、関連する施設との連携及び一体化など、施設の集約や合理化などを図りつつ、適正な施設規模と配置を検討する必要があります。 	やや少ない																																	
機能・汎用性	<ul style="list-style-type: none"> ・主には和室、広間、会議室などで構成され、機能・汎用性は高いです。 	高い																																	
89			89																																

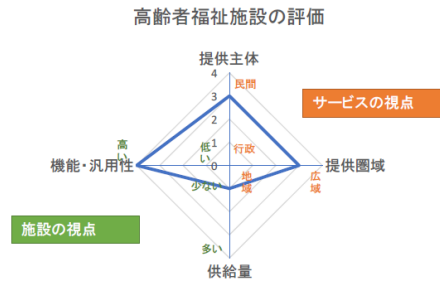
旧(平成 30 年 3 月策定)

(7) 保健・福祉施設/a. 高齢者福祉施設

イ 施設の現状・課題を踏まえた評価結果

総合評価

提供主体、提供圏域、機能・汎用性の面では再配置の自由度は高く、供給量では再配置の自由度は低いです。全体として、多様な再配置手法を一定程度選択できる可能性があります。



ウ 再配置の方向性

再配置の方向性

- ・豊かで充実した高齢者の暮らしと交流を支える施設として位置づけます。
- ・今後の高齢社会に向けて、高齢者の暮らしを豊かにする余暇、憩い、交流などの様々な機能の更なる充実を図ります。
- ・高齢者の施設利用も多く、今後の高齢化の進行もあり、必要性も高いことから、市が主導的な役割を担いますが、地域や施設の特徴により、民間の協力及び参加などによる幅広い管理・運営を検討します。
- ・老朽化が進んでいる施設については統廃合とともに既存施設の機能拡充や利用手段の確保を検討します。
- ・市民文化系施設、社会教育系施設、スポーツ・レクリエーション系、医療施設など、関連する施設との連携などにより、高齢者利用だけでなく、多世代交流の場としての利用範囲の拡大や利用目的の転換を検討します。

エ 再配置計画

再配置計画の内容

- ・サービスの提供圏域はやや広域的であり、施設の供給量はやや少ないものの、同種施設が複数あり、利用面でも課題があることから、民間事業者による運営面での効率化やサービスの向上を見据え、利用実績を踏まえた施設規模を目標として温泉施設の機能統合を図ります。
- ・温泉施設は、いずれも前期から中期に大規模改修期を迎えることから、運営面での効率化を図るため、大規模改修期(前期～中期)に機能統合を図ります。
- ・拠点となる施設の位置を基本として、機能統合を図ります。
- ・民間に貸付を行っている田京老人憩いの家については、現行位置を基本として、早期(前期)に民間移管を図ります。

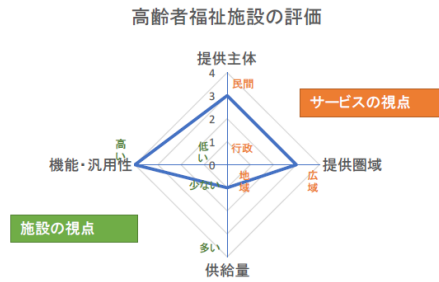
新(改定案)

(7) 保健・福祉施設/a. 高齢者福祉施設

イ 施設の現状・課題を踏まえた評価結果

総合評価

提供主体、提供圏域、機能・汎用性の面では再配置の自由度は高く、供給量では再配置の自由度は低いです。全体として、多様な再配置手法を一定程度選択できる可能性があります。



ウ 再配置の方向性

再配置の方向性

- ・豊かで充実した高齢者の暮らしと交流を支える施設として位置づけます。
- ・今後の高齢社会に向けて、高齢者の暮らしを豊かにする余暇、憩い、交流などの様々な機能の更なる充実を図ります。
- ・高齢者の施設利用も多く、今後の高齢化の進行もあり、必要性も高いことから、市が主導的な役割を担いますが、地域や施設の特徴により、民間の協力及び参加などによる幅広い管理・運営を検討します。
- ・老朽化が進んでいる施設については統廃合とともに既存施設の機能拡充や利用手段の確保を検討します。
- ・市民文化系施設、社会教育系施設、スポーツ・レクリエーション系、医療施設など、関連する施設との連携などにより、高齢者利用だけでなく、多世代交流の場としての利用範囲の拡大や利用目的の転換を検討します。

エ 再配置計画

再配置計画の内容

- ・高齢者健康会館(やすらぎの家)、老人憩いの家水晶苑、高齢者温泉交流館の3施設の利活用の方針については、令和4年度に設置した「高齢者福祉施策のあり方審議会」の検討結果を踏まえて、再配置の方針を決定していきます。
- ・民間に貸付を行っている田京老人憩いの家については、当面は現状維持とし、施設の老朽化の状況等を踏まえ、前期から中期に廃止することを検討していきます。

旧(平成 30 年 3 月策定)

(7) 保健・福祉施設/a. 高齢者福祉施設

工 再配置計画																													
«再配置スケジュール» <table border="1"> <thead> <tr> <th>前期 (2016(平成28)～ 2025(平成37)年度)</th> <th>中期 (2026(平成38)～ 2035(平成47)年度)</th> <th>後期 (2036(平成48)～ 2045(平成57)年度)</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">高齢者健康会館(やすらぎの家)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">老人憩の家水晶苑</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">高齢者温泉交流館</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">田京老人憩いの家</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【凡例】 ○○ : 機能縮減等 ○○ : 機能統合・複合化等 ○○ : 民間移管 ○○ : 広域連携</p>					前期 (2016(平成28)～ 2025(平成37)年度)	中期 (2026(平成38)～ 2035(平成47)年度)	後期 (2036(平成48)～ 2045(平成57)年度)			高齢者健康会館(やすらぎの家)					老人憩の家水晶苑					高齢者温泉交流館					田京老人憩いの家				
前期 (2016(平成28)～ 2025(平成37)年度)	中期 (2026(平成38)～ 2035(平成47)年度)	後期 (2036(平成48)～ 2045(平成57)年度)																											
高齢者健康会館(やすらぎの家)																													
老人憩の家水晶苑																													
高齢者温泉交流館																													
田京老人憩いの家																													
再配置にあつての留意点	<ul style="list-style-type: none"> 機能統合にあたっては、利用実績や市民意向に配慮し、必要施設規模や位置を検討します。 施設計画においては、利用者の利便性確保や施設の効率的な管理・運営を図ります。 災害危険区域内に設置している施設を継続して利用する際は、安全対策(危険の周知や避難体制の整備など)を実施することが必要です。 民間への移管を図る施設については、地域団体との十分な調整をします。 																												
再配置後の施設数及び延床面積の見込み	基準値		見込み値																										
	施設数	延床面積	施設数	延床面積																									
	5	2,840.64 m ²	2	1,826.62 m ²																									

新(改定案)

(7) 保健・福祉施設/a. 高齢者福祉施設

工 再配置計画														
«再配置スケジュール» <table border="1"> <thead> <tr> <th>前期 (2016(平成28)～ 2025(令和7)年度)</th> <th>中期 (2026(令和8)～ 2035(令和17)年度)</th> <th>後期 (2036(令和18)～ 2045(令和27)年度)</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">田京老人憩いの家</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【凡例】 ○○ : 機能縮減等 ○○ : 機能統合・複合化等 ○○ : 民間移管 ○○ : 広域連携</p>					前期 (2016(平成28)～ 2025(令和7)年度)	中期 (2026(令和8)～ 2035(令和17)年度)	後期 (2036(令和18)～ 2045(令和27)年度)			田京老人憩いの家				
前期 (2016(平成28)～ 2025(令和7)年度)	中期 (2026(令和8)～ 2035(令和17)年度)	後期 (2036(令和18)～ 2045(令和27)年度)												
田京老人憩いの家														
再配置にあつての留意点	<ul style="list-style-type: none"> 災害危険区域内に設置している施設を継続して利用する際は、安全対策(危険の周知や避難体制の整備など)を実施することが必要です。 													
再配置後の施設数及び延床面積の見込み	基準値		見込み値											
	施設数	延床面積	施設数	延床面積										
	5	2,840.64 m ²	4	2,614.36 m ²										

他自治体の取組事例

乳幼児から高齢者まで、全世代対応の自主的な活動ができる地域コミュニティの複合施設(東京都荒川区)

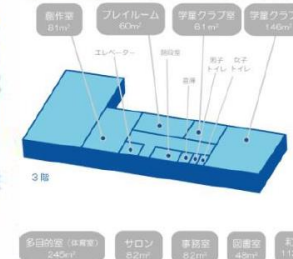
【施設概要】

施設名称：汐入ふれあい館
延床面積：約 917 m²
整備時期：—



【再編内容】

ふれあい館整備ニュープランのもとに基づき、児童館、老人福祉館、社会教育館等、それぞれの利用対象者や目的を個別に持つ施設であった「ひろば館」を、全ての区民に開かれた多目的な機能を持つ「ふれあい館」に整理統合。汐入ふれあい館は、一階に南千住第二幼稚園を併設した、多世代向けの複合交流施設。隣に汐入小学校がある。乳幼児と保護者の方が一緒に遊べる専用の部屋をはじめ、多目的室(体育室)、創作室、図書室、和室等があり、高齢者のサークル活動にも利用されている。



2階 多目的室(体育室) 小さいお子さん遊びや、バドミントン・卓球・一輪車などで遊べる
2階 サロン テーブルゲーム等も置いており、くつろぎ交流の場として利用
3階 プレイルーム 小さいお子さんとお母さんが自由に遊べる部屋

館内構成

(7) 保健・福祉施設/a. 高齢者福祉施設

他自治体の取組事例

乳幼児から高齢者まで。全世代対応の自主的な活動ができる地域コミュニティの複合施設
(東京都荒川区)

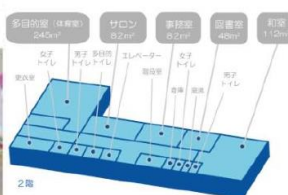
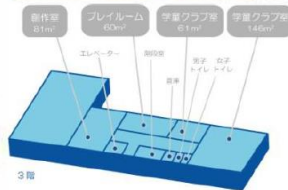
【施設概要】

施設名称：汐入ふれあい館
延床面積：約 917 m²
整備時期：—



【再編内容】

ふれあい館整備ニュープランのもとに基づき、児童館、老人福祉館、社会教育館等、それぞれの利用対象者や目的を個別に持つ施設であった「ひろば館」を、全ての区民に開かれた多目的な機能を持つ「ふれあい館」に整理統合。汐入ふれあい館は、一階に南千住第二幼稚園を併設した、多世代向けの複合交流施設。隣に汐入小学校がある。乳幼児と保護者の方が一緒に遊べる専用の部屋をはじめ、多目的室（体育室）、創作室、図書室、和室等があり、高齢者のサークル活動にも利用されている。



館内構成

2階 多目的室(体育室) ゲーム遊びや、バドミントン、卓球、一輪車などで遊べる
2階 サロン テーブルゲーム等も置いてあり、くつろぎ、交流の場として利用
3階 プレイルーム 小さいお子さんとお母さんが自由に遊べる部屋